

「ICTによる最高のおもてなし」の実現に向けて

国民参加で「ICTによる最高のおもてなし」を実現 (新たなイノベーションを世界に発信)

取り組むべき施策

スマートな 入国手続き

- 簡単かつ便利な本人認証・サービス

スマートな 移動

- 安心・安全かつ円滑な輸送

競技中

- 各種関連情報のオープンデータ化
- 超高精細映像の視聴環境の整備

滞在中

- ユニバーサル環境の整備(多言語対応等)
- 日本の情報や魅力の発信

世界最高水準のICTインフラの整備

国民参加の実現(国内外からアイデア募集等)

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- ▶ 日本が誇る創造力とテクノロジーを駆使し、スポーツとオリンピックに寄与。
- ▶ 素晴らしいイノベーションを、大会、オリンピック・ムーブメント、そしてスポーツのために活用。
- ▶ 東京の優れた技術インフラを活用し、これまでにない競技の実施方法やコミュニケーション、運営方法などを提案。

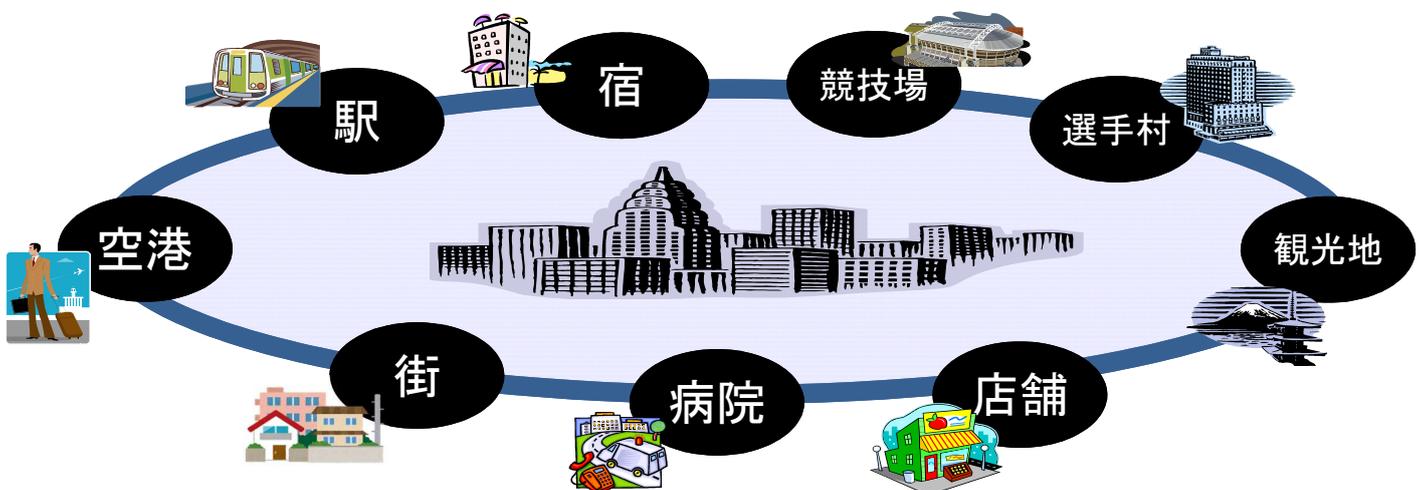
東京オリンピック・パラリンピックにおけるICTの活用場面

スマートな 入国手続き

スマートな 移動

競技中

滞在中



全国各地・世界各国に展開

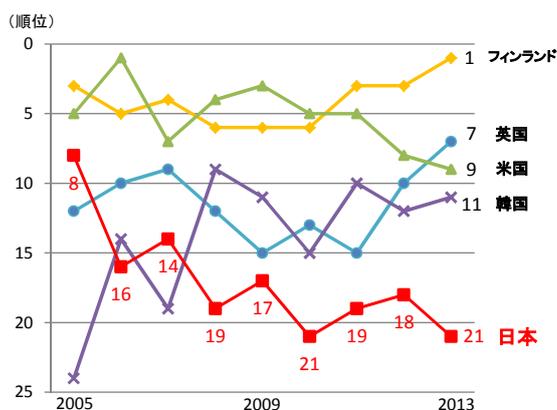
「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」の概要①

1. 基本的考え方

- 持続的成長・発展に向けた「歴史的な分岐点」に立っているという危機感の共有
- 2020年に向けたビジョン：
 - (1) 「知識情報立国（スマート・ジャパン）宣言」
世界をリードする、リアルとバーチャルが融合した、「知識・情報」のフローとストックを戦略的に活用する社会の実現
 - (2) 戦略的視点と官民連携体制
①何を戦うか(分野)、②どこで戦うか(市場)、③どこで戦うか(競争相手)を明確にした展開、強固な官民連携体制の構築
これまでの製品単体の売り切りから、製品、サービス、オペレーションまでを含めた総合的な「システム」として海外展開
- ICTにより「三位一体」で解決(①地球的課題、②我が国の課題、③相手国の課題を一体的に解決)
- ICTを「パッケージ」で展開(インフラ、防災、医療、教育、資源、電子政府、金融、コンテンツ等をパッケージで展開)
- 新たな「アーキテクチャ」を創造(「安心・安全」、「おもてなし」をキーワードに)
- 国・地域別、分野別の戦略的な国際展開

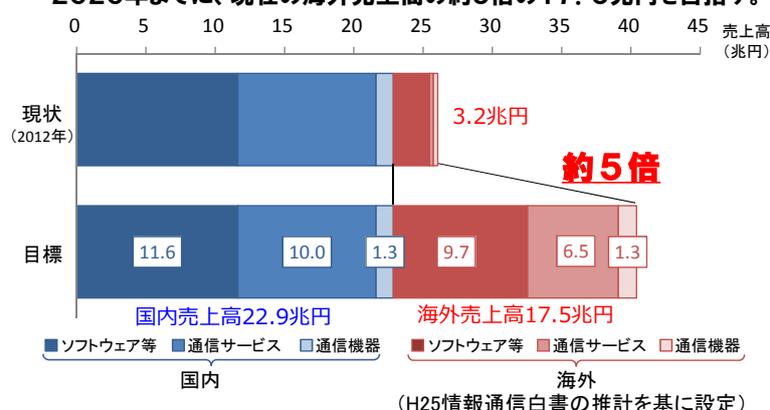
【現状】

◆ 世界経済フォーラムによる ICT競争力ランキングの推移



【目標】

◆ ICTグローバル展開の強化
2020年までに、現在の海外売上高の約5倍の17.5兆円を目指す。



「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」の概要②

2. ビジネス環境整備

- 日本発グローバル展開モデルの構築
 - 「都市丸ごとICT化」、「G空間×ICT」、「防災×ICT」、「放送コンテンツ海外展開」、「スマート・プラチナ社会」、「教育×ICT」、「農業×ICT(スマートアグリ)」等を構築し、日本の優れた技術・ノウハウを展開
- 「ジャパブランド」の確立
 - 「ICT東京オリンピック・パラリンピック」の実現
 - 「最先端ICTショーケース」の戦略的整備(国内外)
 - ロゴマーク制定とプロジェクトプレート
- ICTビジネス基盤の整備
 - 海外ビジネス情報のデータベース整備
 - ベンチャー企業の育成

3. ICT人材育成・活用

- 日本人材の育成・活用
 - ICTソフトウェア開発力の強化
 - 初等教育段階からの「プログラミング教育」の実施
- 外国人材の育成・活用
 - インターンシップを仲介する仕組みを構築
 - MOOCs等を活用した人材の育成・確保
 - 留学生・研修生等との多層的な国際人材ネットワークを強化 等

4. 「技術外交」の強化・展開

- 技術外交戦略の推進
 - 既存の技術・システム(地デジ、G空間等)と将来有望な技術(ウェアラブル、AI等)を峻別した国際展開
 - 技術開発によるイノベーション、出口戦略を重視した標準化戦略、仲間作り、標準化の推進体制・司令塔整備
 - 産官学の連携
- 国際的に調和した環境整備
 - 情報の自由な流通、パーソナルデータの利用と保護のバランス確保
 - 情報セキュリティに関する国際連携推進
- トップセールス連動型の展開や政府間対話の強化
 - 政策ツールとしてのODA等の戦略的活用

5. 「官民オールジャパン体制」の構築

- 「官民ミッション」の派遣(トップセールス)
- 「官民ローカル・タスクフォース」の形成
- ICT国際競争力強化・国際展開に資する資金供給等の仕組みの整備

「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」の時間軸

「歴史的な分岐点」に立っているという危機感の共有

機動的で実効的な「官民連携体制」の構築

- ・「官民ミッション」の派遣(トップセールス)
- ・「官民ローカル・タスクフォース」の形成
- ・国際展開に資する資金供給等の仕組みの整備

「日本ブランド」の確立

- ・「ICTショーケース」の整備(国内/海外)
- ・ロゴマーク制定とプロジェクトプレート

人材育成・人脈構築

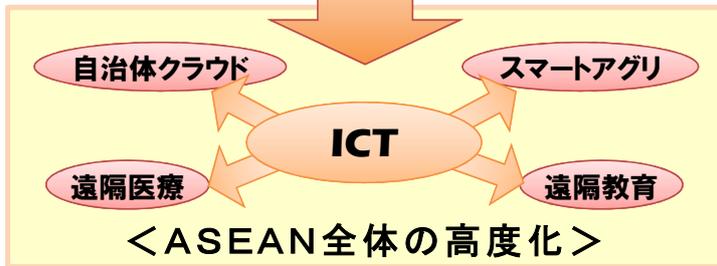
- ・初等教育段階からの「プログラミング教育」の実施
- ・外国人留学生等とのネットワーク強化

ICT国際競争力の強化

- ※ 国際貢献によるWin-Win関係の構築
- [どこで]**
● ASEAN、インドなど
- [何を]**
● 日本の強みを生かした成功モデルを作り、「パッケージ」で展開
(ICTインフラから端末、システム、制度・運用・コンサルまでをワンパッケージに)
- 1st ICTインフラ、セキュリティ
- 2nd 防災、コンテンツ、環境、エネルギー、治水・水道、交通、物流、金融・決済
- 3rd 相手国のICTインフラ整備を促し運用に関わることで、地域の問題を把握し、信頼を得て、日本が課題とするイノベーション分野を先行実施

スマートジャパン

日本にフィードバックし日本の高度化にもつなげる



ICT成長戦略II ロードマップ①

